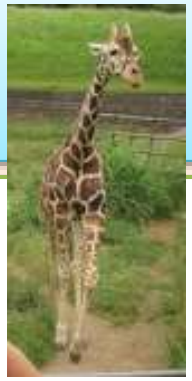
千葉市未来の科学者育成プログラムジュニア
動物園の楽しみ方レベルアップ講座



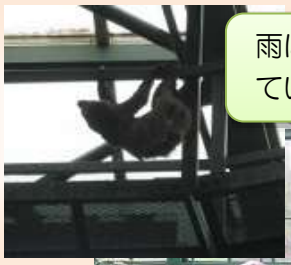
日時　令和３年６月１３日（日）１３：３０～１６：００
場所　千葉市動物公園
講師　ZOO アドバイザー中山侑先生、堀みさと先生、山本大河先生
受講対象学年　小学校３年生および４年生　　**参加した受講生**　１０名

動物を観察するポイント

最初に中山先生から、動物を観察するときのポイントを学びました。「一つの動物をずっと追いかける」「あるパーツに注目して他の動物と比べる」などいろいろな方法があります。科学者・研究者になる心構えも教えてもらいました。

動物観察

子ども動物園でワークシートの動物を探して観察します。さすが動物好きメンバー、みんな余裕で答えていました。さらにはここぞとばかりにうんちくの語り合いで盛り上がります。



バードホールではスコールを再現した雨の場面に。ナマケモノが雨を避けて一生懸命移動している姿を観察。動物科学館ではマンモスの骨格標本からわかることを学びました。

再び野外へ。フクロウがエサのネズミを食べる様子を観察。丸のみする場面も。

アジアゾウのコーナーでは少し時間をかけて身体の特徴や行動を観察しました。堀先生はゾウの元担当者。ゾウのことをたくさん教えてくれました。さらに山本先生から、ヒトと動物のために動物園が工夫していることも教わりました。

ワークシートの確認

動物科学館へ戻って、ワークシートの確認です。いろいろなことに気づくことができました。

今度来たときも、しっかり観察してね！

◆参加した児童の感想

- たくさん動物のことを知れました。もっと知りたいです。ゾウの話がとてもおどろきました。とても楽しかったです。
- ナマケモノがあんなに早く動くと思っていなかったのでびっくりした。
- 今までわからなかったことが知れたので良かったです。ゾウがつめの数が違うのがびっくりしました。
- また動物公園に来た時に、もっと観察したいです。そして、動物たちに詳しい人になりたいです。
- 動物のからだは、色がさまざまあって、行動にもそれぞれあるなと思いました。また、住んでいるところによって体の色もちがうことがわかりました。
- また来たらちがう動物も観察をしたい。他の動物園に行ったら、動物を比べてみたい。

◆参加した保護者の感想

- とてもためになる時間でした。ありがとうございました。またぜひ参加したいです！
- 科学的な基礎的な方法（観察・比較）を学習するよい機会となったと思います。
- 貴重な講座に参加させていただきありがとうございました。普段ただ動物を見るだけでしたが、見方を教えていただき、今後役に立つと思います。研究者には「英語が必要」ということで、苦手意識がなくなる機会となったらうれしいです。